

Imajin21

創今  
造人

萌ゆるもの常に新し

考察 奈良の城

奈良のartist フェニツケ

まちかど探索 東京 駅

NARA 道の駅 宇陀路大宇陀



多くの企業様が新年度を迎えると同時に、消費税率が8%に引き上げられ、消費税の円滑かつ適正な転嫁は大きな課題の一つになっています。増税に至った要因は、社会保障の財源です。明るい日本を取戻し、長寿国として誇れる国策に期待したいものです。

イマジン21は弊社前社長の近東宏光を発行人として皆様にお届けしてまいりました。昨年5月に会長に就任した後も発行人を続け、昨年師走に第26号を発行することができました。しかし本人の意欲を残したまま昨年12月に急逝し、その際、本当に多くの方々にご会葬賜りましたこと、この場をお借りして重ねて感謝を申し上げます。

『自分達の仕事である、「印刷」というコミュニケーションメディアを使って、印刷業界の事、自分たちの住んでいる街のこと、更には環境問題などを「自らの手づくり」で発信したい』。そんな故人の発刊の想いを引継ぎ、絶えず不易流行を忘れず、今後も長く続けられるよう努力いたしますので、ご意見ご叱声を賜れば幸いです。

毎号好評を頂いております、奈良大学の先生方によるリレー連載「奈良の風景」では、多くの歴史を大切にしているか？と改めて考えさせる課題を千田 嘉博学長に投げかけて頂きました。明日を生きるすべを得るために、今日すべき事は多々あります。

奈良が大切にしている歴史に触れる機会として、4月22日～5月18日の日程で、明日香村のキトラ古墳の極彩色壁画が東京国立博物館で特別公開されます。歴史と保存を考えさせてくれる好機となるでしょう。さらに言えば、東京駅は今年12月に開業100周年を迎えます。ビジネスや観光で訪ねられる際は、100年前の赤レンガの駅舎が再現された東京駅の風格を感じつつ、上野公園にある博物館まで足を運んでいただければ、奈良の貴重な歴史に思いを巡らす旅になると思います。

代表取締役社長 近東 宏佳

リレー連載

世界遺産 奈良の風景 ⑨ ..... 1～3

奈良の artist 07

梶谷 哲也 ..... 4～5

まちかど探索 東京駅 ..... 6～7

NARA 道の駅  station ⑥ ..... 8～9  
宇陀路大宇陀

Essay

印刷文化逍遥 ⑳ ..... 10～11

特集

奈良の城  環濠集落 ..... 12～13



わたしたちができる環境づくり

自然との共存を図りながら  
限りある資源を大切に使い環境を守っていく  
私たちは時代に役立つ企業であり続けたいと考えます

編集 / 制作 / 発行

共同精版印刷株式会社 <http://www.kspkk.co.jp/>

本社：〒630-8013 奈良市三條大路2丁目2-6 TEL 0742-33-1221 FAX 0742-33-7035  
大阪支社：〒542-0082 大阪市中央区島之内1丁目12-3 TEL 06-6271-7951 FAX 06-6271-7954  
東京支社：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5丁目6-4 TEL 03-3802-4741 FAX 03-3802-4740



リレー連載

# 奈良の風景 9

奈良大学学長

千田 嘉博

くぼろぼろな奈良の城

奈良は歴史を大切にしているか

奈良は歴史を特に大切にしているというイメージがありません。あなたもそう信じているのではないのでしょうか。たとえば東海地方のある大きな駅には、奈良をアピールする液晶モニターつきの凝った宣伝コーナーが常設されています。それを眺めていると、およそ奈良の寺院や仏像を紹介していて、奈良のアピールポイントが歴史にあるのは明らかです。しかし奈良は歴史を特に大切にしているというイメージは、本当なのでしょうか。少なくとも私は、それを疑わしく感じています。

読者のみなさんは、飛鳥を訪ねられたことがあるでしょうか。高松塚や石舞台をはじめとした数々の古墳、亀石や亀形石造物といった謎を秘めた遺跡・遺物、飛鳥資料館や奈良県立万葉文化館などの充実した文化施設は、歴史を大切にしている奈良のイメージそのものです。そう

根石まで露出した高取城の石垣とその脇を通るハイキング道



国営飛鳥歴史公園内に残る祝戸城城跡としての整備はまったくされていない

した飛鳥らしい場所として、国営飛鳥歴史公園があります。石舞台古墳からほど近い祝戸地区は、飛鳥を一望する景勝地です。

ところが国営飛鳥歴史公園・祝戸地区内に、中世の城跡があることは、ほとんど知られていません。公園南側の麓にある祝戸荘から東展望台につづく国営公園内の園路の途中に、16世紀後半（戦国時代）の山城・祝戸城跡があります。国営歴史公園内にある遺跡ですから、さぞや大切にされていると、誰もが思うでしょう。しかし、とても残念なことに解説板ひとつ現地には設置されていません。城跡は草や雑木が生え放題で、見学することさえままなりません。それど

ころか国営歴史公園の園路が、調査もなしに城跡内を削りながら貫通していて、重要な遺構を破壊しているのです。

こうした状況ですから、歴史に親しもうと公園を訪れた人は、城跡の存在すら気がつきません。中世の飛鳥を考える絶好の遺跡があり、明日香村も奈良県も、そこに城跡があることを重々承知していて、しかしそれを活かす意識は、まったくないのです。中世の歴史や遺跡などは奈良にとって価値はないと考えているかのようにです。奈良にとって価値があり、大切にすべき歴史は、邪馬台国の時代から古代国家の栄光に満ちた奈良時代までなのでしょうが。

崩れゆく国指定史跡

奈良大学は、奈良の豊かな歴史を活かし、教室を飛び出して実際の遺跡や博物館を訪ねて学ぶ体感講義を大切にしています。私も奈良の城跡を学生とともに歩き、現地に立って城跡から歴史を読み解く講義をつづけてきました。実は奈良には数々の山城が残されています。そうした奈良の山城を代表するの

は、高取町の高取城といつてよいでしょう。四季折々の自然にふれ、雄大な景色を楽しめる手軽なトレッキング・コースとして、高取城は親しまれています。



祝戸城の遺構を破壊して貫通する国営飛鳥歴史公園の園路

よく知られているように高取城は江戸時代末まで厳重な山城を維持した珍しい近世の城でした。もともと山城内に藩主屋敷や家臣屋敷など、壮大な武家屋敷群を含み込んだため、全国的



表土流出で一部の遺構が露出する天理市龍王山城



ジャングル化した平群町信貴山城の伝松永屋敷



草木に覆われて石垣も見えない高取城

に見てもたいへん規模の大きな山城でした。しかも主要部はすべて石垣で守り固めていて、現在「天空の城」として話題の、兵庫県の竹田城よりも、実は城の面積も、石垣の大きさも、はるかに勝っていました。本当は高取城が「天空の城」として、大人気になっていてもおかしくない、すごい城跡なのです。

ところが、実際に高取城を訪ねてみると、あらゆるところで石垣の崩壊が起き、あるいは崩壊寸前の危機的状況にあるとわかります。基本的な樹木管理すらしていないところが大部分です。私は全国の城跡を訪ねていますが、これほど管理状態が悪く、城跡としての本質的価値が滅失しかねない国指定史跡の城を、ほかに知りません。

驚いたのは、本来、石垣の基礎として土中に隠れているはずの根石が完全に地表に現れてしまっていて、さらにその根石まわりの土さえ流出して、大規模な石垣崩壊が懸念される場所があることです。恐ろしいことに、その崩壊が懸念される石垣の直下は、多くの人びとが行き交うハイキング道路なのです。この状況に至って、有効な対策が打たれていないのは、深刻な問題です。

多くの歴史を大切にしたい奈良

文化庁は都道府県教育委員会に補助金を出して、中・近世の城跡を網羅的に調べる基礎調査を実施してきました。関西では三重県教育委員会が1977年に調査報告書をまとめたのをはじめに、兵庫県、滋賀県、和歌山県が実施済みで、大阪府も調査を進め限定的ながら報告書をまとめています。京都府は現在、鋭意調査中で、すでに報告書の刊行がはじまっています。

それでは歴史を大切にしている奈良県はどうでしょう。実は、中・近世の城跡の基礎調査をまったくしていない関西で唯一の県が、奈良なのです。古墳や古代の遺跡が多いから、中・近世の城跡の基礎的把握には手が回らないということはあるかもしれませんが、しかし、そうした弁明も、京都府教育委員会が整然と城跡の基礎調査をしている姿の前には、すっかり色あせて見えます。

奈良県内の城跡を総合的に、客観的に評価する指標がないので、どこに、どんな状態で城跡が残っていて、どのような保護・活用が求められるのか、明

確には誰もわからないのが奈良県の現状です。本当に残念だと思います。信貴山城や龍王山城など、課題を抱える城も多いのです。

奈良にとつて、奈良時代以降の歴史は、守る価値のないものなのでしょうか。奈良の歴史というとき、古代までの歴史に限定して活かせばよいのでしょうか。ぼろぼろな奈良の城は、歴史を大切にするとイメージされている奈良が、実はいかに多くの歴史を切り捨て、大切にしていなかったかを物語っています。

今日の奈良に直結した中・近世の歴史と遺跡とを保護して活かせば、奈良の歴史はさらに魅力的になります。奈良よ、もう止せ、こんな事はと、私はいいたいのです。



### 千田 嘉博

[せんだ よしひろ]

愛知県生まれ。奈良大学文学部文化財学科を卒業後、名古屋見晴台考古資料館学芸員となり、さまざまな遺跡を発掘調査。1990年から国立歴史民俗博物館考古研究部助手・助教として、共同研究や展示を担当。1995年ドイツ考古学研究所に留学。2000年に博士(文学)大阪大学。2005年奈良大学文化財学科に着任。2014年4月より現職。主な著書に『織豊系城郭の形成』東京大学出版会、『信長の城』岩波新書など。

奈良の  
artist

07

チェーンソー  
カービング

梶谷

Kajitani Tetsuya

哲也

山のこと、森のこと、そこで働く人々のことを知っていますか？  
知ってほしくて、親しみを感じてほしくて、梶谷哲也さんはチェーンソーをつなら  
せます。伐採と創造。林業と制作。豪快と精妙。無邪気な作品は日本人がたいせ  
つしてきた山からのメッセージを届けようとしています。

## 山いきからのメッセージ

間伐された杉の丸太を立て、ギョングンと回転するチェンソーから飛散する杉の身の破片。彫り進めながら、先が細くて軽いチェンソーに持ち替えていきます。やがて木目の流れや丸み、小さな溝、ささくれでさえも、瞳や鼻、翼や体毛、指や足となって現れます。犬は微笑み、熊は愛嬌を見せ、馬はスキップして、フクロウの首は今にもくるりと回転しそうです。

梶谷さんが創作するチェンソーと丸太のアートは、チェンソーカービング(Carve

「彫る」と呼ばれます(チェンソーアートとも)。梶谷さんは注文を受けて制作するほか、吉野チェンソーアートスクールのインストラクター、各地イベント会場での実演制作など積極的に活動しています。

実演ではチェンソーの音、丸太を彫る豪快さに引き込まれたギャラリーの輪ができます。子どもから大人まで「チェンソーでこんなことができるの?」という興味津々の顔。「作品にさわつちやダメなんて言いません。そばに来て年輪を数えたり、香りをかいだり、またがったりして遊んでほしい」と梶谷さんは話します。やさしげな仕草、かわいげな

表情の作品は、木に親しみ、山の仕事を知ってもらうためのメッセージャーなのです。

## 伐つて創る「魅せる林業」

東京育ちの梶谷さんは田舎暮らしに憧れていました。大学卒業後1年間は憧れを温め、1998年に黒滝村森林組合の現場作業員としてエターン就職。最高級杉の産地・吉野地方で「山に行き、山に生きる人」山いきとしてデビューしました。

林業に必要な技術と精力を築きながら、普遍的な課題となっている間伐材の利用について可能性を探っていた2002年、運命の出会いが待っていました。林業専門誌でチェンソーアート競技会のレポートを読み、「魂が震えました。ついに見つけた! という衝撃でした」。

さっそく愛知県の大会主催者を訪ね、アメリカの有名なチェンソーカーバーが講師を務める講習会に参加。あとは独学練習あるのみ。山で出会う動物をモチーフに技を磨きました。未熟さに焦燥し、斧で割ってしまったこともあったといいます。注文を受けて制作する作品は



庭や玄関先に飾られたり、大切な人に贈られたり。作品には依頼がない限り着色しません。割れ防止の塗料を施す程度。「自然に退色したのも味わいがありますし、木の本来の姿を楽しんでほしい」のです。

梶谷さんは自身の創作活動を芸術ではなく、「魅せる林業」と言います。

山から伐り出された樹木は製材され、仲介されて、消費者に届きます。生産と消費が遠く隔たり、都市部ではカットされた生木の板を見ても、杉か桧か、何の木なのかわからない人が多くなってきたように思えます。

日本人のアイデンティティに関わりうる木と人の関係。吉野の「山いき」は、チェンソーカービングのキャラクターたちとともに「魅せる林業」を表現し続けています。



### Profile

かしたに てつや 1974年生まれ。東京都出身。山に行き、山に生きる「山いき」として、林業とともに、チェンソーカービング、アーボリス(ロープを使って木に登り、巨木・高木を剪定・管理する専門家)など幅広く活躍。すべての活動は「杉のためにできること(出来杉計画)」のため。ブログ「出来杉計画」は、<http://www.deki-sugi.com/>



重要文化財の再誕

# 東京駅

東京駅は東京の玄関ともいべきターミナル駅です。24年10月に復原工事が終わり歴史と風格を感じられる赤レンガの建物は100年前の東京駅の姿が再現されています。

(レポート/東京支社)

## 生まれ変わる東京駅

1日約56万人(2012年度/JR在来線・東北新幹線・東海道新幹線)が乗降する東京駅。ビジネスや旅行の一大ターミナル駅として、鉄道輸送の要衝を担っています。

その東京駅周辺で近年「東京駅が、街になる」をキャッチフレーズに、JR東日本が中心となって大規模な再開発が行われています。

駅構内と周辺では商業施設が次々とオープン。ビジネスと乗換駅という印象から、グループや家族連れで楽しめるエリアへと進化しています。



起工後復原工事中の時計台(平成19年)

## 東京駅平成の歩み

- 平成元年 東海道線に2階建てグリーン車登場
- 2年 自動改札システムを導入(4月)
- 3年 東北新幹線、上越新幹線東京駅開業
- 5年 終日禁煙を東京近郊及びエリア内主要駅に拡大
- 8年 JR東日本HP開設  
旅行者救急看護センター開設(3月)  
丸の内中央口に赤煉瓦ポストを設置(4月)
- 11年 新幹線改札口に自動改札機導入(3月)
- 13年 非接触式ICカードシステム「Suica」のサービス開始  
東京駅周辺の再生整備に関する研究委員会が開催
- 14年 JR東日本完全民営化  
保存復原計画に関する専門委員会が発足
- 15年 国の重要文化財に指定
- 16年 八重洲口開発着工
- 18年 赤レンガが駅舎の復原工事に伴い、東京ステーションホテルが一時休業  
オランダ・アムステルダム中央駅と姉妹駅協定締結
- 19年 丸の内駅舎保存・復原工事着工  
エキナカ商業施設「グランスタ」が地下1階にオープン
- 22年 「SouthCour(ecute東京)」オープン  
「Pensta」オープン
- 24年 丸の内駅舎保存・復原工事が完成



南北ドーム



KITTE屋上庭園からの東京駅



東京駅日本橋口





商業施設 KITTE (キッテ)

平成25年3月21日、東京駅丸の内南口前にJPTタワーの低層棟（地下1階〜地上6階）に旧東京中央郵便局舎を一部保存・再生した商業施設「KITTE（キッテ）」がオープンしました。

イベントにも使用できるアトリウムや夜景もきれいな屋上庭園、全国から選りすぐった美味しい食品の販売店やレストラン、日本のモノづくりへのこだわり・美意識を追求した雑貨店などが展開しています。



6階には休憩にぴったりな屋上庭園「KITTEガーデン」があります。



1階～5階は吹き抜けになっています。



旧郵便局舎が一部保存・再生された外観。

営業時間

ショップ	月～土11:00～21:00/日・祝11:00～20:00
レストラン&カフェ	月～土11:00～23:00/日・祝11:00～22:00
キッテ グランシェ	月～土10:00～21:00/日・祝10:00～20:00

飲食店舗、一部物販店舗にしましては、店舗により営業時間が異なる場合があります。

フロアガイド

屋上庭園 「KITTEガーデン」	6階	日本のおもてなしフロア (レストラン)
5階	吹き抜け	わが街のぬくもりフロア (レストラン)
4階		古と新しい感性の融合フロア (ファッション雑貨・デザイン雑貨・生活雑貨・書籍)
3階		日本の美意識フロア (レディース&メンズファッション・ファッション雑貨・生活雑貨・ビューティーサロン)
2階		大人の女性のリアルクローズフロア (レディースファッション・ファッション雑貨)
1階		つなぐ、つながるフロア (レストラン・フード・ファッション・ファッション雑貨・生活雑貨)
B1階	アトリウム	全国ご当地銘品フロア (弁当・スイーツ・イートイン・ベーカリー・スイーツカフェ)

写真提供:日本郵便株式会社

東京ステーションギャラリー

昭和63年から東京駅構内にある美術館です。平成19年に着工した東京駅の復原工事に伴い一時休館していましたが、平成24年秋の復原工事終了とともにリニューアルオープンしました。入館料は観覧会ごとに変わりますが、500円で楽しめる展覧会もあります。



2階にはミュージアムショップTRAINIART(物販スペース)があります。「人と文化をつなぐ」をコンセプトに東京駅をモチーフにしたオリジナル商品や世界中からセレクトしたアートグッズがあり、こだわりのお土産選びにおすすめです。

営業時間

10:00～18:00(金曜日は10:00～20:00)  
入館は閉館30分前まで。

東京駅一番街

東京駅一番街は、東京駅八重洲側にある商業施設です。東京駅一番街は、特徴のあるゾーンを中心に成り立ち、キャラクターグッズショップやラーメン店、菓子メーカー等のアンテナショップ、土産店、飲食店などさまざまな店舗が集結しています。



東京一番街メインゲート。観光客、買い物客、通勤客など多くの人が訪れます。

NHK含む在京テレビ局のアンテナショップなどがある「東京キャラクターストリート」。この他に、人気のラーメン店がある「東京ラーメンストリート」、大手菓子メーカーのアンテナショップがある「東京おかしランド」、土産物店を集めた「TOKYO Me+(トウキョウミタス)」、飲食店街の「ごちそうプラザ」などがあります。

営業時間

10:00～20:00(2階レストランは11:00～22:00)  
店舗により営業時間が異なります。



写真提供:東京ステーション開発株式会社

その他の遊びスポット、商業施設	改札外	大丸東京 / グランルーフフロント / 東京ビル(TOKIA) / 新丸ビル / 丸ビル
	改札内	京葉ストリート / エキュート東京 / グランスタダイニング / グランスタ

# 道の駅



station

6

## 宇陀路大宇陀

柿本人麻呂ゆかりの「かぎろひの里」大宇陀。万葉集にも詠まれた雄大な自然に囲まれ訪れる人々を万葉ロマンの世界に誘います。



樹齢300年の「又兵衛桜」は毎年大勢の花見客で賑わいます

道の駅・宇陀路大宇陀は趣ある瓦屋根が目印。重要伝統的建造物群保存地区に指定された宇陀松山の町屋をイメージしています。

年間11万人訪れるお客さんも街並みや本郷の滝桜、又兵衛桜を楽しみます。

道の駅は特産品・加工品・お菓子・大和茶や色々な健康茶、素麺、お漬物など豊富な品ぞろえ。

一番の人気は特産品のブルーベリーを使って作られたラスクとかりんとうです。宇陀のブルーベリーをたっぷり使用し、こんがり焼きあげた道の駅のオリジナル。ブルーベリーの酸味が利いた甘さ控えめの食べやすいお菓子です。

地元で採れた旬の野菜や果物が購入できる直売所やメニュー豊富なレストランも併設されています。

そしてなんとといっても「大宇陀温泉あきののゆ」の源泉を無料で楽しむことのできる足湯は人気スポット。ほど良い温度で疲れた足を癒してくれます。

桜の季節は樹齢300年の又兵衛桜など近隣のスポットが見客で賑わいます。ぜひ宇陀まで足を延ばしてみてくださいいかがでしょうか？

### 道の駅宇陀路大宇陀

奈良県宇陀市大宇陀拾生714-1  
(国道166・370号沿い)

営業時間  
喫茶 7:00 ~ 18:00  
物販 8:00 ~ 19:00

休業日:年中無休  
駐車場:普通車36台、大型車3台、身障者用2台、二輪用10台

問合せ:TEL.0745-83-0051  
ホームページ  
<http://www.chinjiyusou.jp/michinoeki/>

れすとらん甘羅  
営業時間:11:00 ~ 21:00  
休業日:年末年始



宇陀市マスコットキャラクター「ウッピー」



ひとまる膳



湯豆腐定食



わらびもち  
(お飲物つき)

ドライバーの疲れを癒す

## 大宇陀温泉 足湯

疲れた足を一休み。あきののゆを道の駅の足湯で楽しめます。  
ほど良い温度で疲れを癒してくれる足湯をどうぞ!  
朝10時から夕方5時まで無料でご利用いただけます。



## お土産を買おう

おすすめがいっぱい



ブルーベリー かりんとう  
ブルーベリーの酸味が利いた  
甘さ控えめ食べやすいお菓子。



ブルーベリー らすく  
宇陀のブルーベリーたっぷり。  
お土産や運転のおともに!



黒豆 せんべい  
宇陀の黒豆を贅沢に使用し  
香ばしく焼き上げたせんべい。



ブルーベリーゆず ジェム  
農園で採れたブルーベリーや  
ゆずをそのまま加工しました。



## 記紀・万葉 あきのの里へようこそ

駅長 嶋田雄三 さん

道の駅宇陀路大宇陀は奈良県の北東部に位置し、歴史と豊かな自然に囲まれた観光の拠点となる場所にあります。

東にはその昔、商屋町として発展した旧城下町で、歴史的・文化的に価値の高いものとして「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された松山地区があり、西には戦国武将 後藤又兵衛が由来の又兵衛桜。柿本人麻呂の詩で有名な「かぎろひ」の丘と数々の歴史的観光スポットがあります。また、情報発信の拠点として、街の色々な情報、道路情報などが得られるように充実させております。

そして、地元特産品はもちろん、特産品を加工した当駅オリジナルの商品も数多く取り揃え、観光に来られたお客様に大満足していただけるように心がけております。これからの暑い季節にピッタリの大人気のブルーベリーソフトに疲れた足を癒す無料の足湯もございます。

大宇陀へお越しの際はぜひ、道の駅宇陀路大宇陀にお立ち寄りください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



大宇陀の地酒  
高原の伏流水と澄みきった空気、良質のお米が絶品の日本酒を造ります。



黒門もなか  
小倉・ゆず・抹茶の3種。  
どれもあんこたっぷりの  
食べこたえある一品。

行業のお土産に  
宇陀の特産品を  
どうぞ



人麿最中  
あんこの中の栗片は柿  
本人麻呂の歌にある月  
を表現。大宇陀銘菓。





めてから多くの作品を書いたことと知られている。

戦後、作家になって華々しく活躍したのは石原慎太郎である。彼は『太陽の季節』をひたして文壇に登場し、作家としての地位を確立した。その文学の素地はヘミングウェイであったとどこかで述べている。

さて、文学賞にもいろいろあるが、国際的な作家に授けられるのはノーベル文学賞である。これにはアメリカのヘミングウェイが受賞し（1954年）、彼のファンは大喜びした。当時『老人と海』が話題になり、のちに映画化もされたが、アメリカ文学の評価が一挙

に高まったと言つてよいだろう。

この作品はいち早くわが国でも翻訳され、競つて読まれたものだった。訳者は福田恆存であった。私も早速手に入れ、懸命になって読了した日を思い出すのである。

話が少々脱線してしまつたが、近頃の芥川賞や直木賞の受賞者はどうなのだろうか。あまり読んでいないのではつきりしたことは言えないが、若い人には確かに励みになることだろう。

そうした中で、川端康成と大江健三郎がノーベル文学賞を受賞したことはうれしいことであつた。

もともと日本文学を外国人に

知らしめることは英語に翻訳するとういうハンディがあり、それこそドナルド・キーンなどのよき理解者があればこそ、日本文学が海外の人にも理解されるようになったと言つてもよい。

そう考えるとドナルド・キーンの存在は甚だ大きいと言わねばならないが、あくまでも陰の人としてしか知られていないのは残念である。

ところで、どこの世界でも運不運があり、当然受賞すると思つた人がそうでなくなり、反対に最初は候補に上らなかつた人が、審査員の一声で逆転し、思わぬ人が受賞するということが起こるから、常識で理解することは難しいと言わねばなるまい。

以前に読んだことのある審査員の裏側というものは想像以上の複雑さがある。

あれでもない、これでもない、遂にはどれを受賞作品にするのか大いに悩むのであるが、これは審査員になつた人にしかわからないことであらう。

こうした修羅場をくぐり抜けた果てに受賞した者は、それこそ何ものにも代え難い喜びがあるはずである。フオークナーしかり、ヘミングウェイしかりである。日本人では川端康成、大

江健三郎が格別の名譽を味わつたことだろう。

このように日本文学も国際的に知られるようになってきたが、ヨーロッパの作品と比べるとまだまだである。とにかく言語の壁が立ちばかり、なかなか理解されないのである。

したがつて、これから日本文学の理解者を増やし、外国へもどしどし日本文学を紹介していくことが必要であらう。



## 嘉瀬井 整夫

[かせい ただお]  
1934年京都市に生まれる。  
1949年より94年まで印刷産業に従事。  
奈良県立短期大学（現奈良県立大学）卒業。

主著『井伏鱒二私論』  
『奈良大和路文学散歩』  
『奈良高畑日記抄』ほか。  
文芸評論家。



番条集落北口に残る環濠

特集

# 奈良の城と環濠集落

奈良にも多くの城が存在した。時代の流れと共にそれは城跡となり、私達の心から忘れ去られようとした。再びその存在を知り、そこに息づくエピソードを紐解く。それは、私達のルーツを知ることになる。

## 大和の「城」の原風景 環濠集落

中世の奈良を知る第一級の資料に『大乗院寺社雜事記』という書物があります。興福寺大乗院の門跡が15、16世紀に三代にわたって書き継いだ日記で、日常の様子から政治の話題まで、多岐にわたる内容が生き生きと

時の記事であるが注目したいのは、番条氏が攻められた際、多くの一般人が「堀」に落ちて亡くなっていることです。つまり、番条氏が戦った堀を巡らす城館は、同時に多くの非戦闘員が居住する場でもあったことがわかるのです。

つづられており、当時の人々の息吹が伝わる書物です。この日記の長祿3年(1459)の記事には、「番条之長懐父子自焼シテ昨夜落了…(中略)…其外番条郷民等道俗男女不知其数於堀水テ死去」という一文が見えます。「番条之長懐」は大和郡山市にあった番条荘、若槻荘などの荘園の荘官を務めた、番条氏という土豪の頭領である番条長懐のことであるが、長祿3年、彼は室町幕府三管領の一翼である畠山家の内紛に巻き込まれ、同じく大和郡山市筒井に本拠を置く筒井氏に攻められます。善戦空しく敗れた番条氏は自らの館に火を放ち没落してしまいます。先に見た日記の一文はこの

番条氏の城館は現在も大和郡山市番条町に残っています。多くの人が亡くなったとされる堀は、今は埋められて公園となっていますが、明治時代の地籍図を辿ると堀を巡らせた往年の集落が復元できます。こうした村全体に堀「濠」を巡らせた集落を環濠集落といい、現在、大和全体で170以上も残されています。

とところで、番条集落を復元してみると、北側と南側に館と思われる大きな区画があり、それに挟まれて一般の人々が暮らした集落域があったことが見て取れます。「城」というと石垣と天守閣を持つ雄大な姿を思い浮かべがちですが、このように、館と村落がセットになり、全体を濠で囲った環濠集落こそ、大和

と、館と村落がセットになり、全体を濠で囲った環濠集落こそ、大和

の「城」の原風景であるといえるでしょう。

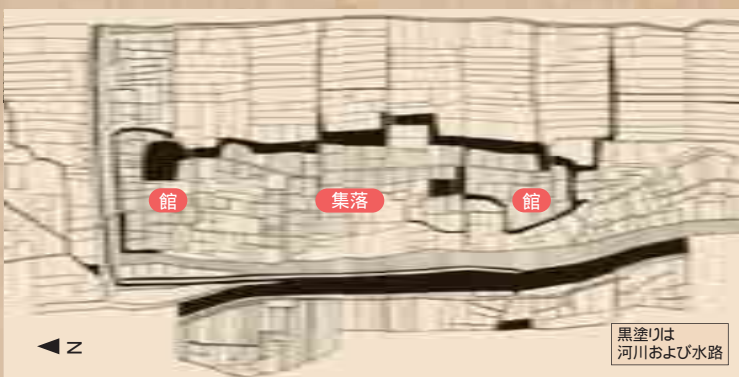
さて、天正8年(1580)、畿内に覇を唱えた織田信長は、大和一国破城令を出し、城という城を破壊しよう命じます。これにより防御拠点としての城郭の一部を残し、姿を消したはずなのですが、同じく城としての機能を持った環濠集落は今に至るまで存続しているのです。これはどういうことでしょうか。実は、環濠集落の環濠にはもう一つの隠れた機能があったのです。

### 水利との関係

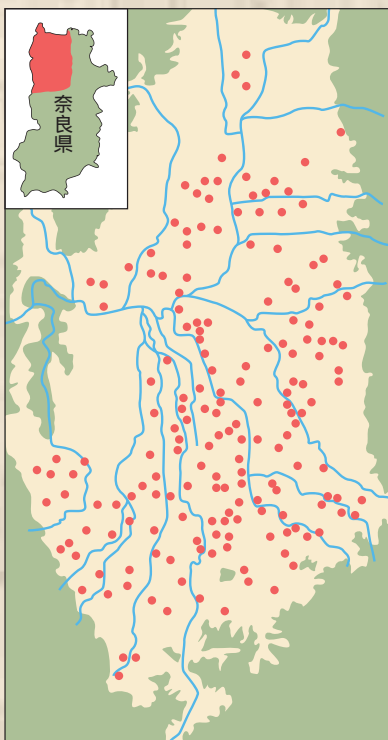
春、田植えの季節に環濠集落周辺を歩いてみましょう。驚くのは、環濠集落へ取り付く水路がすべて堰を閉じられ、ため池のように満々と水を湛えていることです。大和盆地は広範囲に条里型水田が広がり、この水田にどのよう水を配るかは村にとって最大の関心事で、かつては水を巡る争いが度々起こっていました。そのため、大和盆地の水路は極めて綿密に設計され



番条集落東側に残る環濠の痕跡



地籍図からみた番条集落 (山川均氏原図)



大和盆地環濠集落分布図

て網の目のように張り巡らせてあり、水の利用順番も村単位で綿密に決められていました(現在は吉野川分水の完成で随分変わってしまいました)。環濠集落の配置をみると、いずれも川から取水した水を、広範囲に分配する基幹水路の結節点に存在していることがわかります。こうした結節点における、濠の存在は貯水・分水に際して重要な役割を果たします。つまり、環濠集落には水利調整機能が備わっていたのです。

このことは近年進んだ発掘調査でも明らかになりつつあります。大和の代表的な環濠集落である大和郡山市若槻集落や、同じく大和郡山市にあり、筒井順慶で有名な筒井城などで行われた発掘調査では、環濠集落の起源が各地で巨大化する戦国時代ではなく、はるか以前の鎌倉時代後期の水路を巡らす集落

にあることがわかってきました。つまり、現在大規模な環濠を持っている集落が、もともとは基幹水路の結節点に水路を取り込んで造られた農業村落であったことがわかってきたのです。

こうしたことから、環濠集落の本質的機能は水利にあり、戦国時代以降、濠の巨大化を含めた城館としての機能が比率を高めていったと考えることができるとなりました。だからこそ、信長により「城」の破却が行われても、環濠集落は現在まで残り続けたのでしょう。

近年、大和盆地でも農地の商業地への転換が進み、水田景観が急速に失われています。水田景観と結びついた環濠集落のある風景は、日本城郭の原風景とも言えるでしょう。私たちは今後こうした風景を大切に子孙に伝えてゆきたいものです。

著/元興寺文化財研究所 佐藤 亜聖

番条集落へのアクセス バス/奈良交通バス「横田町西口」より徒歩10分  
車 / 県道108号線、丹後庄信号交差点から東へ約600m

命が吹き込まれる

木  
森  
が  
あ  
り



宇陀市 佛隆寺「千年桜」

Imajin21

今  
創  
人  
造

悠久の歴史の流れ、古の都は  
今も、その面影を色濃く残す  
いくつものドラマがあり  
新たな時代が生まれた  
そこから先人の英知を知り  
人を見つめ直す  
そして「今」を創造す

樹  
が  
育  
ち

KYODO SEIHAN PRINTING

**KSP**

そして紙ができ



本誌は、「FSCミックス認証紙」を使用しています。

